

肱川

発行
肱川町企画調整室
電話肱川局 120
印刷 エヒメコープ印刷部

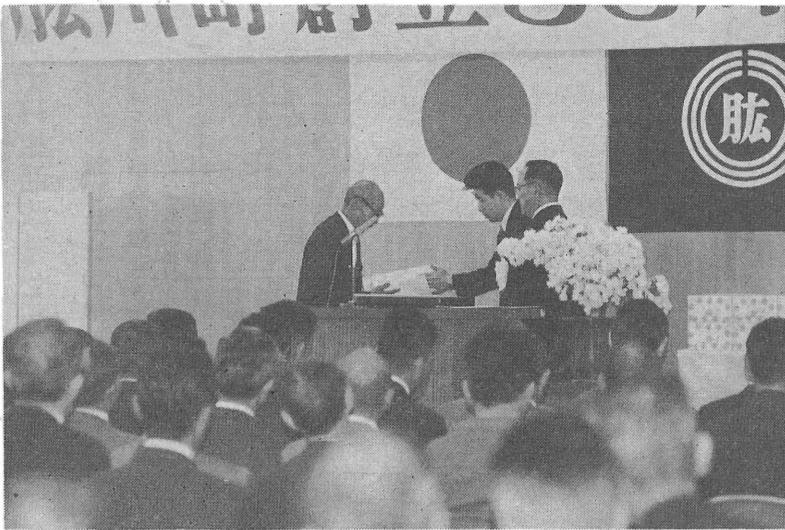
昭和48年4月末現在
世帯数 1,128戸
人口(男) 2,130人
(女) 2,187人
計 4,317人
昭和48年4月中届出生
道野尾 上甲 秀樹
藤の原 池田 大昌
下鹿野川和氣 紳悟
市の畦 橋本さおり
死亡
知者ノ木 前田ヨシエ

限りない発展にこころ新た

町創立三十周年記念式典

私たちの町が昭和十八年に誕生してから、今年でちょうど三十年になります。町では、その三十周年を祝って四月二十九日に記念式典を公民館で催しました。町内の有志のかたや周辺の市町村の代表二百三十人が出席、町発展のためにつくされた功労者の表彰などを行なって町創立三十周年を祝いました。

私たちの町は、昭和十八年、河辺村、宇和川村、大谷村が合併して肱川村として発足しました。その後、昭和二十六年、旧河辺村の一部が分離して現在の河辺村へと独立し、同三十四年、町制の施行により肱川町に名称を改め、



町発展のためにつくされた功労者の表彰

現在のいたっています。肱川村創立の十八年当時、世帯数千六百三十八戸、人口八千三百六十七人でしたが、現在は、世帯数千三百三十三戸、人口四千三百五十二人と人口では、約半数に減りました。私たちの町は、この記念すべき年にあたって、今一度、過去をふりかえり、真剣になって重大な諸問題を解決してゆかなくてはなりません。この機会に、心を新たに限りなく発展する町にしたいものです。

町民課へは28番

役場へかけるときはこの電話でどうぞ

役場へ電話をかけられるときは、次の番号でかけられると早く係がでます。受話機のそばへ切りとってはっておいて下さい。

- 町民課 二八番
- 生活福祉課 七二二番
- 産業建設課 一六番
- 議事事務局 一六番
- 地籍調査室 一六六番
- 商工観光室 一六六番
- 総務課 二二〇番
- 企画調整室 二二〇番
- 夜間は二八番です
- 教育委員会 七二二番
- 公民館 一五九番
- 給食センター 六〇三二番



地籍調査は新しい町づくりのいしずえ

今年汗生、小畑井、萩野尾で実施

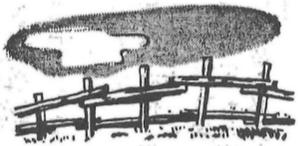
国土調査の事業を始めて今年で八年目になり、未調査の区域は、大字宇和川の一部、山鳥坂、中津となり五十一年度で現地測量を終る予定です。今年、汗生、小畑井、萩野尾の区域を実施します。現在準備を進めていますが、七月頃から三角点、基準点の測量を行ない、皆さんの土地の境界の測量は、九月頃着手する予定です。くわしくは、後日、部落へ出向いて、説明会を催しますが、次の事柄を済ませて置くと、調査を大変速く行なうことができます。今までの調査では、土地の戸籍とともいべき「土地台帳」や「字限図」は明治の初めに地租をとりためるための目的でできたもので、当時の測量技術の幼稚さと長い年月を経たため、現状と相違するものが多く、今では図面はあまりあてにならなくなり、大切な土地の境界争いの原因ともなっています。地籍調査とは、正しい測量によって、新しく地籍図と地籍簿を作り、皆さんの土地の正しい位置、形、地番、地目、面積を明らかにするための調査なのです。これを済ませると、区画整理をはじめ土地改良事業や、土木事業など、いろいろの建設事業の計画を立てたり、作業をしたりするのにも大変役立つとともに、大切な土地を守ることができ、皆さんのご協力を、お願いいたします。

青少年を守る県民運動

五月・六月・七月

青少年を守る県民運動として「青少年の環境をよくし福祉を高める運動」が五月、六月、七月の三か月間関係団体の協力で実施されます。私たちは、次の時代をになう大切な若者を健全に育てるため、お互い次のことがらを実施しましょう。

- 社会環境をよくするためお互いの立場立場で反省してみよう。
- 家庭では、不健全な図書や、好ましくないものを取り除こう。また食事その他の機会になごやかな「話し」の場をもとう。
- 児童や青少年が気やすく何でも相談できる雰囲気をつくろう。また積極的に相談に応じ激励しよう。
- 青少年の自覚を高めるよう導ぼう。



善意ある社員の加入を

五月は赤十字運動月間

日本赤十字社は、国際赤十字社の一員として、赤十字の理想とする人道的任務を果すため国内外にわたって次のような事業を実施しております。救護看護婦の養成

- 1、幼児から目をはなさない、川や池など危険なところを遊んでいる子どもをみかけたら、その場で注意しよう。
- 2、幼児の遊び友だちの母親とはすぐ連絡がとれるように。
- 3、子どもを水の事故から守ろう
- 4、危険な区域には、子どもを近づかせない。



巡回診療 身体障害児援護など中広い社会援護の活動を推進しておりますが、これらに要する経費のほとんどは社員のきよ出する社費でまかなわれております。

○猟銃の一斉検査
六月一日 午後二時から午後四時まで肱川町公民館で行ないます。

○母親学級の開設
とき 六月二十七日午前九時三十分～午後三時三十分
ところ 町公民館
対象者 現在妊娠中の者 授乳中の者 近い将来妊娠予定の者
内容 衛生教育 妊産婦の栄養 午前中調理実習、午後講演と診察。
持参品 たまご一個、米一合。

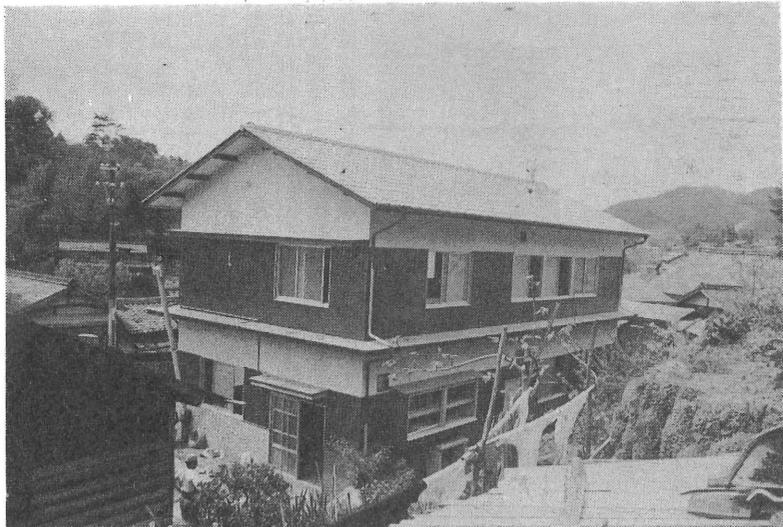
○乳児健康相談
とき 六月十五日 午後一時～三時三十分
ところ 町公民館
該当者 生後二ヶ月～十二ヶ月までの乳児。その他希望者。
その他赤ちゃん体操の実習も行ないます。

予子林生活改善センター落成

—地域住民の福祉向上のために—

特定地域振興事業で建築中であつた予子林生活改善センターがこの程落成しました。

このセンターは、四八〇万円の費用をかけて完成したもので、木造三階建二六五平方メートルのりっぱなものです。



完成した予子林生活改善センター

身障者の巡回、更生相談

申込み六月二十日まで

身体に障害のある者および児童であつて次に該当する方(視覚、内部聴覚、言語機能障害者を除く)は、それぞれ専門医師およびレントゲン技師に受診または相談ができませんから六月二十日までに町生活福祉課まで申し込んでください。

一、身体障害者手帳の交付を必要とする方
二、更生医療、育成医療を必要とする方

必要とする方
三、補装具の交付、修理を必要とする方
四、施設入所、職業生活について相談される方
五、療育指導を必要とする児童
六、養護教育を必要とする児童

実施主体 愛媛県
実施場所 大洲保健所
実施日時 七月五日 午前九時半
 午後三時

身障者の運転免許取得

受付六月一日から

身体に不自由な方で自動二万五千円以内を助成して車運転免許をとりたい方は、愛媛県公安委員会指定の自動車教習所を通じ、県警本部運転免許課にて「受験資格可否審査」の申請を行なう。審査合格の後、車種の選定、免許取得について指導を受け、この費用は県が負担する。

医学生修学資金制度

医学を専攻する者で、県が市町村の機関に将来勤務しようとする者には、県が修学資金を貸与する制度があります。おたずねください。

議長に永田氏

副議長に中居氏留任

町議会報告

第八十八回町総務委員会
議会議長は五月七日に行なわれ、上程された議案三件の審議と議長、副議長、文化委員会の選出および常任委員の選任が行なわれた。

上程議案
一、職員の日、休暇ならびに勤務時間などに関する条例の一部改正(原案可決)
二、肱川町振興計画の策定について(原案承認)
三、喜多郡内陸部土地開発庁舎建設特別委員会(原案可決)

議長 永田茂喜(再選)
副議長 中居喜代光(再選)

委員 今岡 安盛
副 山口 清政
委員 丸山音澄、堀川史朗、永田茂喜、岡村利三
文化委員会
委員長 岩田横太郎
副 中野 一
委員 中居喜代光、久保田仁之、村田英夫
産業委員会
委員長 畦田 和弘
副 西宮 実
委員 植木武雄、福山 義一、和氣不二夫
委員 植木 武雄
委員長 久保田仁之
副 久保田仁之
委員 岩田横太郎、堀川史朗、丸山音澄、畦田和弘

おとしよりの職業相談

八幡浜公共職業安定所へ

本年四月一日から、六十連絡ください。相談員が直才以上の人の職業相談を毎接訪問いたします。週月、水、金曜日に午前八時三〇分より午後五時までの場所を受け付けております。

八幡浜公共職業安定所
(八幡浜市広瀬二一六〇)
〒七九六
電話(〇八九四二)
②四〇三三
相談員 政所為蔵

開眼運動巡回診査

六月二十八日 五十崎公民館

一般視力障害者の診査および更生相談と失明者ならびに高度の視力障害者について視力回復の見込みのある方に開眼に要する医療扶助が行なわれます。早め町生活福祉課に連絡して下さい。

実施主体 愛媛県
協力機関 松山日赤病院
実施場所 五十崎町中央公民館
実施日時 六月二十八日 午前九時
 午後三時

入賞は谷本さんの「鹿」など

がん具と土産品募集

毎年増加する観光客へ郷土の土産品を生み出そうと重点に審査した結果、町内から「郷土がん具と観賞土産品」を広く募集して「鹿」、上川和文さんおりました。このほど入賞作品五点を決め発表しました。

堀和明さんの「干しゼンマイ」、小川カナエさんの「種子ブローチ」がそれぞれ入賞しました。



入賞した作品

出稼ぎ労働者相談員をご利用ください

町内では、昨年度約七十人の人達が季節的に出稼ぎをされております。就労先では、労働災害、賃金不払いなど、雇用をめぐる諸問題が発生したり、また留守家族問題もおきたりして、しばしば社会問題となっております。

これらの問題を解決するために、公共職業安定所などと密接な連絡をとり、よい就業先を照会し、求人情報などを提供したり、就労先と留守家族との連絡など諸問題に積極的にとり組んで貰うために相談員が設置されました。

氏名は次のとおり(敬称略)
山崎 一 宇都宮寿男
周藤 春馬 今宮 忠雄
富永 直次 山中 美茂
松本 藤寿 蔵田 重信
水口 勇

なお、求人情報の資料は役場(産業建設課)が取りまとめしておりますので、いつでも気軽にお問い合せください。

町の出来事

- 四月三日 〇 肱栄部消防火栓等完成祝賀会
- 五日 〇 交通指導員研修会
- 八日 〇 予子林老友会総会
- 九日 〇 小学校入学式
- 〇 保育所入所式
- 十日 〇 中学校入学式
- 〇 定時制高校入学式
- 〇 ツベルクリン反応検査(正山)
- 〇 文化財専門委員会
- 十二日 〇 遺族会総会
- 〇 農業共済損害評価委員会
- 〇 酪農部総会
- 〇 中野、小藪老友会総会
- 〇 乳児健康相談
- 〇 町創立三〇周年記念植樹(町職員)
- 〇 郷土玩具および観光みやげ品審査会
- 〇 ツ反判定(予子林)
- 〇 中小企業振興融資審査会
- 〇 公民館分館長主事会
- 〇 町議会委員会
- 〇 肱川農協定例総会
- 〇 町税出張受入
- 〇 養蚕者大会
- 〇 酪農部総会
- 〇 中野、小藪老友会総会
- 〇 乳児健康相談
- 〇 町創立三〇周年記念植樹(町職員)
- 〇 郷土玩具および観光みやげ品審査会
- 〇 ツ反判定(予子林)
- 〇 中小企業振興融資審査会
- 〇 公民館分館長主事会
- 〇 町議会委員会
- 〇 肱川農協定例総会
- 〇 町税出張受入

町の花は「ツツジ」

町の木は「アカマツ」



町創立三十周年を記念して、町内四百十三人の小中学生に公募して行なった町の花と木は、「ツツジ」と「アカマツ」に決まりました。

昭和47年度季節出稼者就労動向調べ

	農水産業	林業	建設業	食料品製造業	鉄鋼関係	その他	合計
出稼者	2	150		17	7		176
農家人口							3,610 (857戸)

昭和47年度季節出稼者就労先別調べ

	関東	中部	近畿	中国	四国(自除)	九州	他県計	自県内	合計
出稼者	3	3	122	14	1	1	144	32	176

(昭和48年2月現在、就業相談員による調べ)

